

長久手市行政評価票

事業番号	48	事業の名称	保育園入所等事務	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童を保護者に代わり保育し、児童の健全な育成に努めることを目的とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	①保育所数及び運営形態別数	②待機児童数(平成24年4月1日時点)	③家庭保育室制度実施状況
	(概要) 保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童を保護者に代わりに保育する。		瀬戸市……①公営14園、公営以外9園、合計23園。 ②待機児童7名 ③家庭保育室制度は未実施。 尾張旭市……①公営9園、公営以外6園、合計15園。 ②待機児童0名 ③家庭保育室制度は未実施。 日進市……①公営9園、公営以外2園、合計11園。 ②待機児童1名 ③家庭保育室制度は未実施。 東郷町……①公営8園、公営以外1園、合計9園。 ②待機児童11名 ③家庭保育室制度は未実施。		

事業期間	事業開始年度	昭和43年度	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	入所要件を満たす児童を全て保育園に受け入れ、児童の健全な育成に努める。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		722,958	692,194	1,051,057	985,886	1,279,639
一般財源		508,982	472,760	830,144	493,886	1,024,240
国費・県費		7,778	10,084	6,189	271,610	12,730
地方債						
受益者負担額		206,198	209,350	214,724	220,390	242,669

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H23実績 H24実績 H24目標値	単位			成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
									H24予算	H24決算					
① 保育園運営事務	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童	4月~7月~10月~1月~	入所要件を満たす児童を全て保育園に受け入れることで、	入所児童数882人 待機児童43人	入所児童数/申込者数	95.7 95.4 100.0	%	待機児童ゼロが目標	722,958 1,018,742 1,260,849	692,194 972,456	嘱託員報酬 101,225 臨時職員賃金 46,307	B 向上 増加	平成24年9月から新たな事業「家庭保育室」を実施したことや、平成26年度に新設保育所を開設することで保育の需要に応えるとともに、待機児童解消を目指す。		
② 家庭保育室制度運営事業	待機児童	一定員に達するまで随時	市が指定する保育者が定員内において、保護者に代わって保育を随時受け付けることで	10名の利用(全定員数10人)	家庭保育室入所者数	- 10 10	人	家庭保育室定員数	- 32,315 18,790	- 13,430	家庭保育室運営委託 12,578千円	A 維持 維持	待機児童の年齢層が0~2歳のため、家庭保育室事業を維持し、現行通り実施する。		
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 新設保育園建設事業	年々増加している保育園入所者について、既存の保育園では対応が困難になっているため、新たに保育園を建設し保育需要に応える。		H25以降新規に実施する事務事業